

第1回 川西北小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成 23 年 11 月 12 日（月）

午後 1 時半～3 時半

場 所：コミュニティプラザ

参加人数：13 名



1 大塩市長よりあいさつ

- ・ 人口減少が進む中、もはや右肩上がりの時代ではないが、それでも安心・幸福を高めていくことが、これからのまちづくりで重要な課題である。
- ・ 地域分権制度の検討も含めて、地域のみなさんと一緒になってできることを考え、川西の小学校区それぞれの地域の特徴を活かすことのできるような取組みを行っていきたい。

2 岩崎先生（四日市大学教授）による基調講演

懇談会を始めるにあたって、四日市大学の岩崎教授にお話をうかがった。

- ・ 私たちは人口が減るといふ大転換点に生活している。人口増の時代に作ってきた仕組みでは将来機能しなくなる。
- ・ 生産年齢人口がピークだったのが 1995 年。総人口のピークが 2005 年。二つの大震災の間に日本は人口増減の大きな峠を越えた。
- ・ 1950 年の日本の人口が 9000 万人、2005 年に 1 億 2774 万人まで増加して、2050 年には 9000 万人を下回ると想定されている。100 年間での急速人口増、急速人口減。ここまでの変動は、世界的、歴史的に見ても類を見ない。手探りで道を切り開いていかねばならない。
- ・ 1969 年に千葉県松戸市に、当時の松本清市長が「すぐやる課」をつくった。当時は人口増の時代、すなわち税収増加の時代。あれもこれも役所で引き受けられた。これからは実施するサービスを選択していかなくてはならない。「あれもこれも」から、「あれかこれか」の時代へ。
- ・ 広域でやるべき仕事と、狭い地域でやるべき仕事を考えていかなくてはならない。かつては狭い地域でやるべき仕事は、地域主体でやっていた。
- ・ 地域で仕事を引き受ける場合、無償ではなく有償で実施する事例が増えており、さらにやりがいも感じながら関わることができるようだ。
- ・ 2012 年に一斉に定年を迎える団塊の世代が、こういった仕事の担い手になってくれることを期待している。

3 グループワーク

地域の課題と、地域の資源（地域活動、モノ、ヒト、コト）を挙げ、それぞれキーワード付けを行った。

《A班》岡田さん、正井さん、梯さん、塩田さん

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 自治会未加入者の増加 高齢のため自治会行事参加が困難 班長、会長の指導力の低下 連帯意識の低下 意識力の低下、無気力 子ども会未加入者の増加 / 母子家庭等の理由から役を引き受けられない 自治会の行事に参加しやすいよう工夫する 	自治会のあり方
<ul style="list-style-type: none"> アパートなどにひとり暮らしの方は（若者、高齢者共に）地域とのコミュニケーションが薄い 	ひとり暮らし
<ul style="list-style-type: none"> ガードレールを手すりと兼用できればよい（高台に住んでいる） 足が不自由になっても外出できるような配慮 昔の街なので歩道が狭い 電信柱がありベビーカーが通行できない 	歩行者の安全 / 外出の不便さ
<ul style="list-style-type: none"> 空き家は、周辺の方々に少し手伝えばすっきりする 空き家の入居促進 空き家に勝手に住まう人がいる 	空き家問題
<ul style="list-style-type: none"> 小児科受診の医院通い / 地域では少ない 	小児科、産婦人科が少ない
<ul style="list-style-type: none"> 認知症の方の見守り 土曜日、日曜日に配食サービスがない 高齢者の支援において、個人情報保護法が壁になる 高齢者のゴミ出し / 家の前でも大変 高齢者が日常的に楽しむ、コミュニケーションがとれる場所や機会が少ない 子ども（若い世代）と高齢者のかかわりが少ない 共同の階段には介護保険が利用できないため、手すりがつけられない 	高齢者の日常の問題
<ul style="list-style-type: none"> 公園の使いやすさ / 皆さま方の地域での活動 猪名川には子どもの遊び場が少ない / 全国で二番目に汚れている 地域の自然環境を子どもたちの育ちに活かしてきていない 地域の自然環境の重要性の認識不足 	自然環境とその活かし方
<ul style="list-style-type: none"> 犬猫を飼っている人のマナーが悪すぎる / 糞を片付けない 早朝のペット散歩は垂れ流しの状態が多い 	ペット問題
<ul style="list-style-type: none"> 地元であるのに中央北地区の青写真が見えてこない / 関心が薄い 皮工場跡、病院の計画は聞くが、充実した病院希望 / 詰め込み部屋にしない 	中央北地区
<ul style="list-style-type: none"> 役所の方が質問にきちんとこたえてくれない / 書面での回答が欲しい 	市への要望

【地域の資源】(地域活動については別表にて表示)

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 北小の東側から中央北地区にかけての区間開発予定地の水路にはまだ生物が多い(しかし子どもが入れない) 	残された環境
<ul style="list-style-type: none"> 鶯の森から東の朝の五月山 出在家から西の夕暮れ 市内の風景 川西花火と淀川花火が見える 八坂神社と八皇子神社の桜が美しい 	景色



《B班》 酒井さん、瀬藤さん、米田さん、佐々木さん

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 駅まで遠い高齢者にとってバスの便が悪い 高齢者はゴミの分別が困難 / 粗大ゴミ出しが困難 坂が多く歩行が困難 買い物に行けない 高齢者の休む所がない 公園の椅子を増やす 	高齢者への支援
<ul style="list-style-type: none"> 自治会への加入者が少ない(50%を切っている) 自治会の中で役員が当たるのを嫌がり、脱会する人が多い 自治会の加入が悪いため、高齢者の数が把握できない 	自治会加入
<ul style="list-style-type: none"> 公園の近辺の人が、子どもが騒ぐと叱る 子どもの遊び場所が少ない 球技が出来るような公園が欲しい 	子どもの居場所
<ul style="list-style-type: none"> 長屋、賃貸マンションでの流入が多く、家庭内の事がつかみにくい 近所付き合いが希薄 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> 行事参加率が悪い 行事に面白みがないのか無関心 	コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> 市道以外の無断駐車が多い 空き缶を雨水管に放置する人がいる 犬猫の散歩のマナーが悪い 	マナー
<ul style="list-style-type: none"> 空き地での雑草の放置 空き家が増え雑草等ゴミが増える 夜中にバイクの騒音がやかましい 総合病院の充実 	環境

【地域の資源】(地域活動については別表にて表示)

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品イチジク ・ 猪名川の景観 ・ 八坂神社の桜 ・ コミュニティプラザの池の鯉と亀、鴨の飛来 	-



《C班》 西畠さん、中島さん、吉村さん、鈴木さん、伊藤さん

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティプラザが片端に位置している ・ 地域の中にある、単位自治会とのギャップの解消が必要 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化で子どもの数が少なく、子ども会が成り立たない ・ 小学校区が自由に選べるので、子どもたちがまとまらない 	校区問題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の糞の放置 ・ 古江地の野焼きの対応 ・ 空き家地の雑草取りの義務化 ・ 猪名川河川敷での花火がうるさい 	環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サポートチームの拡大 ・ 昼間独居者が多く、災害時が心配 ・ 単身高齢者の孤独死の防止 ・ 単身高齢者の孤独対策 地域内で NPO 法人の設立が必要 ・ ゴミステーションの細分化は高齢者にはつらい ・ 近くに店がないので駅に出るのが不便 ・ 松が丘地区に自治会館がない ・ バス便が少なく、駅前への移動が困難 ・ 松が丘は坂の上にあるが、病院、買い物への足である阪急バスの本数が少ない ・ 町内に坂が多く、高齢者の移動が困難 ・ 小さな福祉活動に共感を得る手段が必要 地域のまとめ役が企画してほしい 	高齢者支援

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 水防センターの有効活用 猪名川の多面的活用（研究等） 松山浄水場跡地の有効活用 能勢電鉄の踏切の改修（安全対策） 	施設の活用
<ul style="list-style-type: none"> 松が丘地区の居住者が高齢者から若年者に移りつつある 新しく住む人が自治会に入るように、役所の方が勧めて欲しい 年齢ギャップをどうするか / 地域活動は高齢者偏重の状態 自治会役員のなり手、後継者がいない 自治会の加入率が低く、行事の参加者も少ない 自治体参加者、加入者の減少 	自治会加入率低下
<ul style="list-style-type: none"> 有事のときの連絡方法（システム、マニュアル化） 最近警察の巡回が少なく、安全上問題がある 自転車対応（専用道、マナー向上、携帯禁止の強化） 災害時対応がわからない（自治会長） 	安全

【地域の資源】（地域活動については別表にて表示）

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 能勢電鉄の駅が3つある 駅の名前がきれい 	能勢電鉄
<ul style="list-style-type: none"> 八坂遊園の桜 松山浄水場跡地の桜 バラの庭の美しい家がある 	景観 / 桜の花
<ul style="list-style-type: none"> 鷲の森夢工房 作品展に出展が多い / 文化意識が高い 仏像や能面を彫れる人がいる 油絵の画家がいる 	文化活動が盛ん



【地域活動シート】 地域活動シートは、地域でほぼ共通事項であるので1枚で整理

<p>世代間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 餅つき大会(高齢者が子どもに丸め方などを教えている) 高齢者のサポートチームが自助組織化できている 老人会と子ども会がラジオ体操(松が丘) 老人と子どもの交流(年二回) 桜が美しい地域で親睦をかねた祭り 公園での飲み会(年一回/自治会) 焼き芋大会(八皇子神社/年一回/高齢者と子どもの交流、子どもが火を体験できる) 花見歩こう会(年一回) 	<p>祭り・伝統文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども神輿の巡行 盆踊り大会(毎年八月) 三輪神社での行事 PTCA文化祭 餅つき大会 文化会館での長寿祭 各地区での地蔵盆(萩原は地元の人だけ、他は子ども会を呼んでくれる) 盆踊り、火打ち(子どもみこし/滝山/出在家) 	<p>子ども健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが挨拶してくれる 北小ワンパククラブ(子育て支援) 通学路での見守り 学校の植木の剪定 放課後クラブ(折り紙、将棋、囲碁、ドッジボール、英会話) 夏休み中のラジオ体操 北小のグラウンド整備(スポーツクラブ21) 子供会の加入者が他校区より多い(減少してきてはいるが)
<p>高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者対象昼食会(福祉委員会) 高齢者のグラウンドゴルフ(隔月) 茶話会(隔月/老人クラブ) 地域内ハイキング大会(福祉委員会) 無料で車いすを貸し出している(福祉委員会) 自治会を巡って高齢者昼食会(福祉委員会) 老人会活動が盛んに行われている ふれあいサロン(月一回) 心配事相談(毎週水曜日) 配食サービス(ボランティア登録42名) 電話訪問安否確認 皆で声を出そう、家から一歩出かけよう カラオケ(月二回/集会所) ふれあい昼食会(250食/北小体育館、公民館) 食事会の野菜等、食材の大量寄付 毎月各自治会集会所にて食事(約一年に一回回ってくる) バス旅行、ハイキング(年二回/老人クラブ) 	<p>防犯・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 歳末特別警戒(十二月二十五日~二十七日) 防犯巡回活動(隣の自治会と共に) コミュニティの防災組織 防災訓練 コミュニティプラザに炊き出し備品を確保 夜間防犯見回り(頻繁に) <p>地域の美化・緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内大掃除(年二回/七月、十二月) 公園清掃(毎月最低一回/子ども会) 生ゴミ用ボックスの設置 古紙収集(シニアクラブ) 新聞、段ボール集め(月一回/子ども会の資金) ゴミ収集場のエコバックの利用を地域全体で行っている 行事ごとの公園清掃 クリーンアップ(年二回) ゴミの日はゴミ袋を地域で買ってもらおう(他の地域にはないと思う) 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市の自治会との共同行事(芋生川文化祭等)が地域活性化になっている 地区共存(宝塚市、松が丘)での自治会行事(文化祭、餅つき、夏祭り) 松が丘はまつり、作品展が地域を挙げて行われ、住民同士が知り合うきっかけとなっている 消防団、子ども会等、各種団体間の協力体制

4 各班の発表概要

A 班

- ・ 自治会のあり方として、加入者の意識の低下が課題にあがった。
- ・ 高齢者については、ゴミ出しの問題や、情報がないためひとり暮らしの人が把握できないなどの課題があがった。
- ・ 空き家による問題が深刻であるという意見があり、議論となった。



B 班

- ・ コミュニティの行事への参加率が低い。これは行事に面白さが減って来たということかもしれない。我々としても検討していかなくてはならないだろう。
- ・ PTCA 文化祭はコミュニティが一体となって実行していて、他の地域にはないものである。
- ・ コミュニティプラザは鯉や亀が池にいる。鴨もやってくる。これを資源として是非活用していきたい。



C 班

- ・ 自治会の加入率が低いと、様々な他の課題があがってくる。
- ・ 高齢化による課題がたくさん出た。
- ・ 子どもが挨拶してくれるのは非常に良いこと。
- ・ 能勢電鉄の駅が三つあり、いずれも名前がきれいで由来がある。これは地域の資源である。



岩崎先生よりコメント

- ・ ゴミ問題に関しては、自治会で高齢者のゴミ回収を行う手法がある。分別を自治会が引き受け、報酬をもらうような仕組みができるとよい。
- ・ 空き家問題に対しては、草刈り条例を行政が作り、代執行を自治会がやるような手法がある。地域によっては草の変わりに自治会がソバを植えているような事例がある。
- ・ 地域の力でいろいろなことができる。皆が課題を出し合って、共有して解決を探る場は重要。
- ・ ガードレールを手すりにする案が出た。こういったアイデアはとても画期的だと思う。お金もそれほどかからないだろう。是非取り組んでいって欲しい。
- ・ PTCA の行事は重要。学業を教師が教え、地域のことは地域の人が教える。こういったコミュニティスクールのような形ができてくるとよい。

- ・ 各種の行政の補助金をまとめ、自治会が使いやすくするような予算の仕組みを、行政も今後検討していく必要がある。
- ・ 小額でも報酬をもらうことで、利用者も意見を言える。そういう仕組みの方が長く続いていくのではないだろうか。
- ・ 川西市全体でできることの他に、手を挙げたやる気のある地域でのみ、集中してできることがある。皆さんもいろいろと考え、実行して欲しい。

5 おわりに

- ・ 次回以降は、将来ありたい地域の姿について話し合う。
- ・ 次回の懇談会は12月17日(土)1時半～